

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成 2 7 年 5 月】

■調 査 概 要（データ対象期間：平成 2 7 年 5 月 1 日～5 月 3 1 日）

○調査期間：平成 2 7 年 6 月 3 日～6 月 2 4 日

○調査対象：市内中小企業 2 0 0 企業に対して郵送によるアンケート調査

○回収状況：建設業 2 5 企業、製造業 2 3 企業、卸売業 1 6 企業、小売業 3 5 企業
飲食業 1 5 企業、サービス 4 9 企業（運輸、不動産仲介業を含む）
＜合計 1 6 3 企業＞

○調査項目：5 月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう 3 ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

（注）D I (Diffusion Index) 値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

※DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概 況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が拡大

1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲6.3）よりマイナス幅が4.2ポイント拡大し、▲10.5となった。業種別では、飲食業がマイナスからプラスに転じ、サービス業、製造業がプラスからマイナスに転じた。建設業、小売業はマイナス幅が縮小し、卸売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲16.9）よりマイナス幅が1.5ポイント拡大し、▲18.4となった。業種別では、飲食業がマイナスからプラスに転じ、サービス業がプラスからマイナスに転じた。建設業はマイナス幅が縮小し、小売業、製造業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

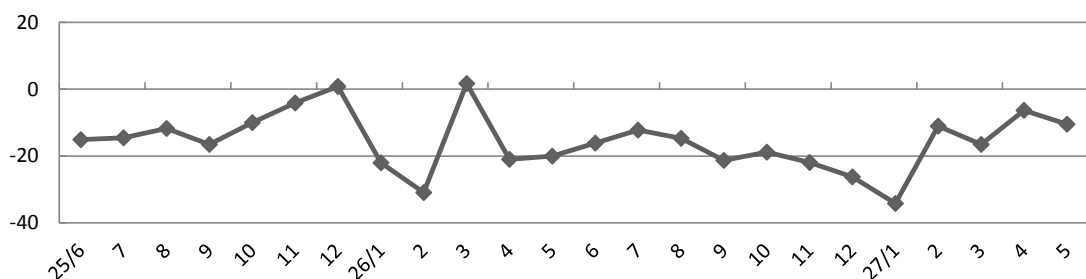
業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	14.7 (15.5)	60.1 (62.7)	25.2 (21.8)	▲ 10.5 (▲ 6.3)	12.3 (12.0)	57.0 (59.1)	30.7 (28.9)	▲ 18.4 (▲ 16.9)
建設業	8.0 (20.0)	80.0 (50.0)	12.0 (30.0)	▲ 4.0 (▲ 10.0)	8.0 (10.0)	68.0 (55.0)	24.0 (35.0)	▲ 16.0 (▲ 25.0)
製造業	13.0 (25.0)	60.9 (55.0)	26.1 (20.0)	▲ 13.1 (5.0)	4.3 (15.0)	65.3 (60.0)	30.4 (25.0)	▲ 26.1 (▲ 10.0)
卸売業	6.3 (18.8)	49.9 (56.2)	43.8 (25.0)	▲ 37.5 (▲ 6.2)	0.0 (6.3)	50.0 (56.2)	50.0 (37.5)	▲ 50.0 (▲ 31.2)
小売業	14.3 (9.1)	51.4 (54.5)	34.3 (36.4)	▲ 20.0 (▲ 27.3)	14.3 (12.1)	37.1 (42.4)	48.6 (45.5)	▲ 34.3 (▲ 33.4)
飲食業	20.0 (8.3)	66.7 (75.0)	13.3 (16.7)	6.7 (▲ 8.4)	33.3 (8.3)	53.4 (66.7)	13.3 (25.0)	20.0 (▲ 16.7)
サービス業	20.4 (14.6)	57.2 (78.1)	22.4 (7.3)	▲ 2.0 (7.3)	14.3 (14.6)	65.3 (73.2)	20.4 (12.2)	▲ 6.1 (2.4)

（ ）内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

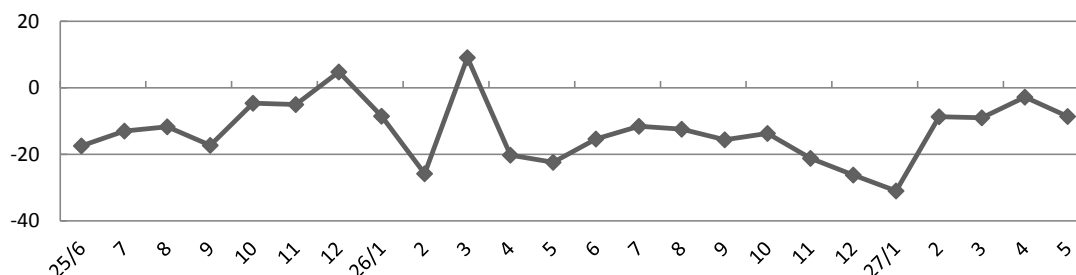
業況判断DI（全産業・前年同月比）の推移



2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲2.8）よりマイナス幅が5.8ポイント拡大し、▲8.6となった。業種別に見ると、飲食業がマイナスからプラスに転じ、製造業とサービス業がプラスから0、卸売業が0からマイナスとなった。小売業はマイナス幅が縮小し、建設業はマイナス幅が拡大した。

売上高DI（全産業・前年同月比）の推移



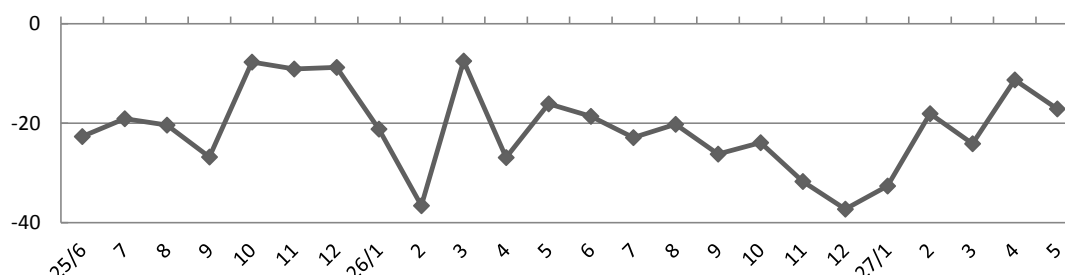
【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
全 体	▲ 22.4	▲ 15.4	▲ 11.5	▲ 12.4	▲ 15.6	▲ 13.7	▲ 21.2	▲ 26.2	▲ 31.0	▲ 8.7	▲ 9.0	▲ 2.8	▲ 8.6
建 設 業	▲ 23.5	0.0	12.5	5.9	▲ 14.3	▲ 13.4	▲ 6.7	▲ 17.7	▲ 37.5	▲ 31.3	▲ 6.2	▲ 15.0	▲ 16.0
製 造 業	▲ 50.0	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 28.6	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 33.3	▲ 19.1	▲ 30.0	▲ 13.0	▲ 25.0	5.0	0.0
卸 売 業	▲ 25.0	5.9	▲ 12.5	▲ 5.9	0.0	▲ 12.5	▲ 43.8	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 6.3	▲ 26.7	0.0	▲ 25.0
小 売 業	▲ 38.1	▲ 24.0	▲ 29.2	▲ 7.7	▲ 37.0	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 50.0	▲ 48.3	▲ 11.5	▲ 16.6	▲ 21.2	▲ 20.0
飲 食 業	0.0	▲ 50.0	▲ 10.0	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 30.0	0.0	▲ 22.2	27.3	8.3	▲ 8.4	6.7
サービス業	▲ 2.5	▲ 5.7	▲ 5.8	▲ 10.2	0.0	3.1	▲ 5.0	▲ 24.3	▲ 19.5	▲ 5.7	5.0	14.7	0.0

3. 営業利益D I（前年同月比）

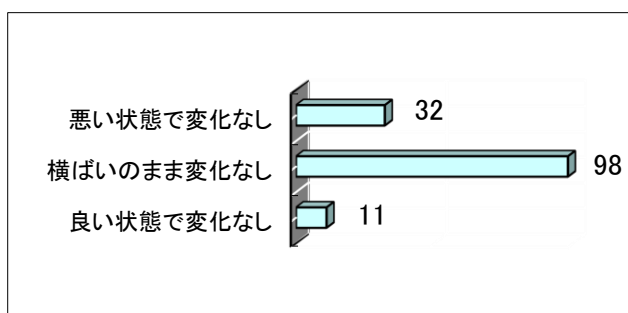
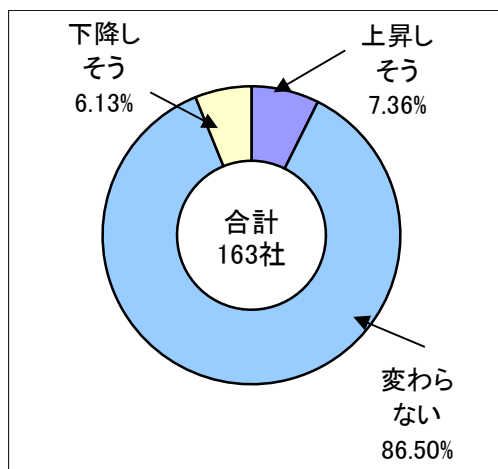
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲11.3）よりマイナス幅が5.8ポイント拡大し、▲17.1となった。業種別に見ると、サービス業がプラスからマイナスに転じた。飲食業、小売業はマイナス幅が縮小し、建設業、卸売業、製造業はマイナス幅が拡大した。

営業利益DI（全産業・前年同月比）の推移



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
全 体	▲ 16.1	▲ 18.6	▲ 22.9	▲ 20.2	▲ 26.2	▲ 23.9	▲ 31.7	▲ 37.3	▲ 32.6	▲ 18.1	▲ 24.1	▲ 11.3	▲ 17.1
建 設 業	▲ 5.9	▲ 13.4	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 13.4	▲ 35.3	▲ 37.5	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 32.0
製 造 業	▲ 41.6	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 38.1	▲ 26.3	▲ 23.5	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 35.0	▲ 26.1	▲ 45.0	▲ 10.0	▲ 30.4
卸 売 業	▲ 31.3	▲ 11.7	▲ 18.7	0.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 56.3	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 31.2	▲ 40.0	▲ 6.2	▲ 18.7
小 売 業	▲ 19.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 40.7	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 34.5	▲ 19.3	▲ 30.0	▲ 39.4	▲ 17.1
飲 食 業	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 44.4	▲ 60.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 36.4	▲ 33.3	27.3	0.0	▲ 16.7	▲ 6.7
サービス業	2.5	▲ 5.7	▲ 17.1	▲ 17.9	▲ 2.7	▲ 15.1	▲ 20.0	▲ 29.7	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 10.0	14.6	▲ 6.1



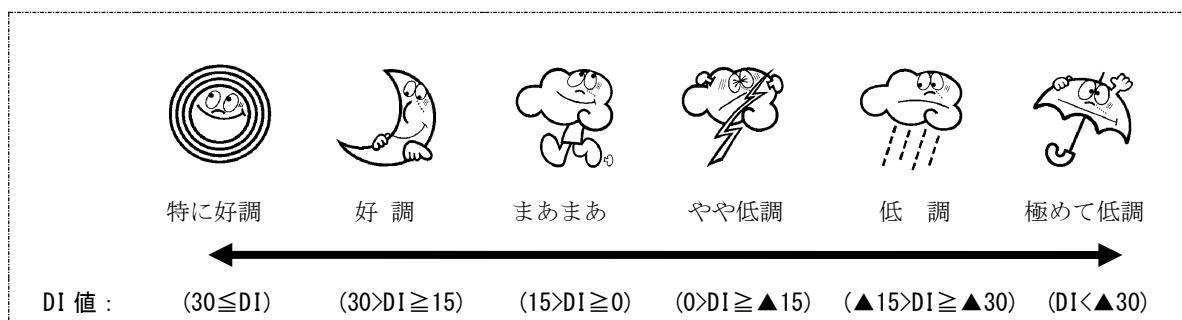
○平成27年6月～平成27年8月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ1.79ポイント減少し7.36%、「下降しそう」が1.21ポイント増加し6.13%となった。業種別の見通しDIは建設業(4.0)、製造業(8.7)、卸売業(0)、小売業(2.9)、飲食業(▲6.6)、サービス業(▲2.0)であった。

➡「上昇しそう」では、「公共工事の発注が始まるため」「公共工事の経費率の上昇」(建設業)、「新しい受注がある」「見積案件が増えたため」(製造業)、「プレミアム商品券が発行されるため」「顧客に初夏の商品案内DMを送付するため」(小売業)、「夏休みがあるため」(飲食業)、「暑い日が続くと来客数が増えるため」「完了予定の案件に関する回収が予定されているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

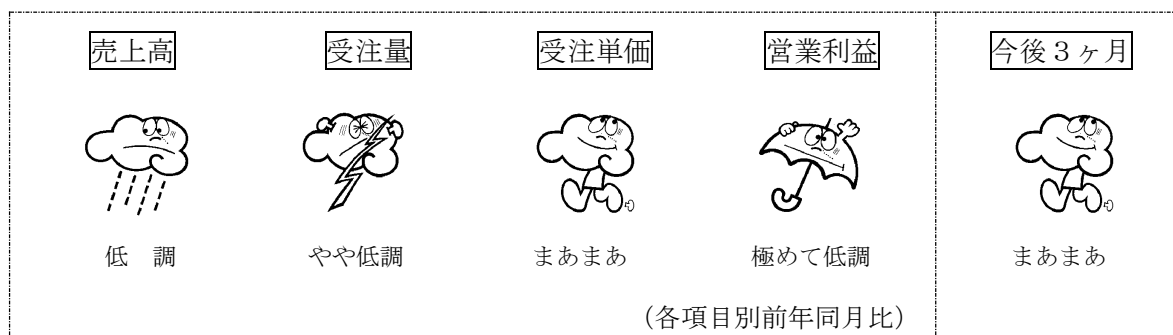
➡「下降しそう」では、「受注残件数が少ないため」(建設業)、「梅雨シーズンのため」「例年6月、7月は来客数が落ち込む」(飲食業)、「梅雨が長引きそう、またエルニーニョ現象も夏に影響を与えそうのため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

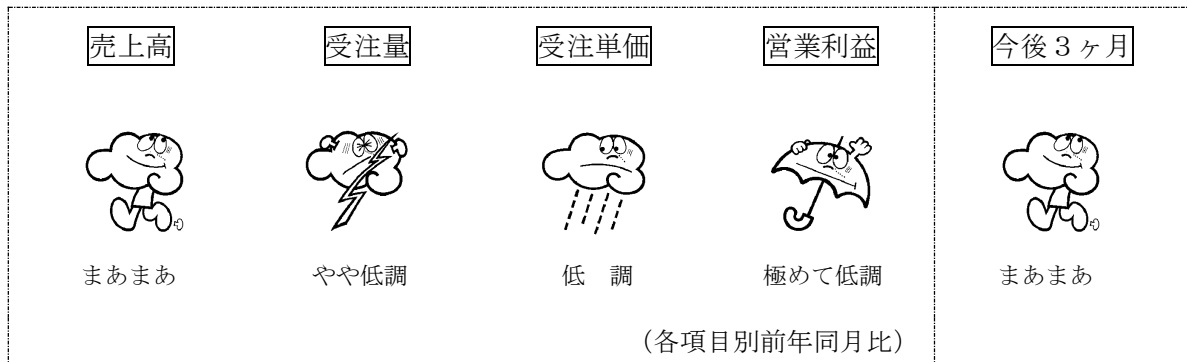
	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 23.5	0.0	12.5	5.9	▲ 14.3	▲ 13.4	▲ 6.7	▲ 17.7	▲ 37.5	▲ 31.3	▲ 6.2	▲ 15.0	▲ 16.0
受注量	▲ 29.4	▲ 13.4	6.3	▲ 11.7	▲ 21.5	▲ 33.4	▲ 13.3	▲ 47.0	▲ 43.8	▲ 31.2	▲ 18.8	▲ 15.0	▲ 12.0
受注単価	▲ 5.8	▲ 6.6	▲ 12.5	▲ 11.7	▲ 14.3	▲ 26.6	0.0	▲ 17.6	▲ 18.7	▲ 6.3	▲ 6.2	0.0	8.0
営業利益	▲ 5.9	▲ 13.4	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 13.4	▲ 35.3	▲ 37.5	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 32.0
見通し	▲ 11.8	0.0	▲ 18.8	▲ 11.8	0.0	▲ 6.6	0.0	▲ 5.9	▲ 6.3	6.2	6.3	▲ 5.0	4.0

<経営者の目・見方・etc>

- 管工事
 - ・同時に小さな物件の受注があり調整に大変苦労した。大きな物件は見当たらないので今後に期待したい。
- 建設工事
 - ・現在は見積の段階だが、設備投資による建物の増築依頼が増えてきている。
 - ・公共工事は無く、民間も昨年より受注が少ないので、今後が心配である。
- 総合建設
 - ・公共工事の経費算定率のアップにより全体で5%弱工事金額が増加した。松本市が申請した国交省、文科省の工事補助金が思った金額できていないので気になる。
- 鉄工
 - ・建設業の関東圏は相変わらず好調な環境が続いているが、4月、5月は低調だった。今後は受注残等を考えても上昇していくと考えられるが、昨年の粗鋼生産量や建築着工面積等は昨年を下回る部分があり、先行きは慎重に考えた方がよさそうだ。
 - ・大手の工場は受注、単価ともに良好だが、松本市内の中小企業は相変わらず悪い状態が続いている。
- 電気工事
 - ・鉄骨需要は堅調で工場稼働率も高水準で推移している。
 - ・各業界の総会が終わり、新年度が始まったので期待したい。

・4月、5月、6月は発注物件（公共土木工事）が少ないので止むを得ないと思っているが前倒しの措置の発注を強く望んでいる。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
売 上 高	▲ 50.0	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 28.6	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 33.3	▲ 19.1	▲ 30.0	▲ 13.0	▲ 25.0	5.0	0.0
受 注 量	▲ 45.8	▲ 25.0	▲ 19.1	▲ 23.8	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 44.5	▲ 19.0	▲ 35.0	▲ 17.4	▲ 30.0	▲ 5.0	▲ 4.4
受 注 単 価	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 23.8	▲ 23.8	▲ 31.6	▲ 23.5	▲ 22.2	▲ 23.8	▲ 20.0	▲ 21.7	▲ 30.0	▲ 25.0	▲ 17.4
営 業 利 益	▲ 41.6	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 38.1	▲ 26.3	▲ 23.5	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 35.0	▲ 26.1	▲ 45.0	▲ 10.0	▲ 30.4
見 通 し	▲ 8.3	▲ 5.0	▲ 9.5	▲ 23.8	▲ 10.5	▲ 11.7	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 4.4	▲ 20.0	5.0	8.7

<経営者の目・見方・e t c>

菓子

・5月の平均気温が例年の5月より2～3度上回っていたという情報を見て、菓子の売れ行きが大きく下回った理由がわかった。猛暑が予想される6月、7月が心配である。

金属塗装

・受注が極端に落ち、採算が非常に悪い状態である。

酒類

・外国人観光客は、4月から増加傾向にあるが、日本人観顧客は、善光寺御開帳や北陸新幹線延伸の影響か、松本近隣ではあまり増えてはいない印象を受ける。

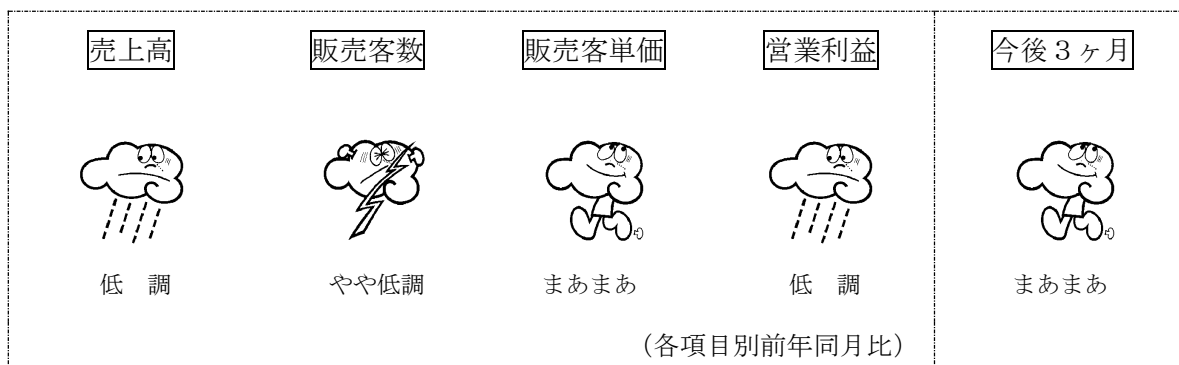
小型情報機器組立

・円安が続けば先行の受注にひびくのか、海外へ進出してしまいそうである。

豆腐

・5月は例年に比べ、気温が高い日が続き豆腐の売れ行きは良かった。しかし、原材料価格の高騰も続き利益が上がらない。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 25.0	5.9	▲ 12.5	▲ 5.9	0.0	▲ 12.5	▲ 43.8	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 6.3	▲ 26.7	0.0	▲ 25.0
販売客数	▲ 25.0	▲ 11.7	▲ 12.5	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 18.7	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 18.7	▲ 12.5
販売客単価	▲ 6.3	▲ 17.6	▲ 25.0	▲ 17.6	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 18.8	▲ 18.7	▲ 12.5	0.0	18.7	0.0
営業利益	▲ 31.3	▲ 11.7	▲ 18.7	0.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 56.3	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 31.2	▲ 40.0	▲ 6.2	▲ 18.7
見通し	0.0	5.9	▲ 6.2	▲ 11.8	0.0	0.0	▲ 6.3	▲ 12.5	0.0	0.0	▲ 20.0	6.3	0.0

<経営者の目・見方・etc>

機械工具

・景気は、まだ模様が良いところと悪いところがあり、良いところがまだ少ない。業界では良くなりかけた雰囲気が全体的にあったが、まだまだ安定感はない。

・先行きの不透明感は変わらないが、消費税8%の重さを感じる。

金属製品

・建築案件が少ない時期であり、地元の小口案件に対応している状況である。今後の大口案件は夏以降に具体化してくる。

自転車

・電動アシスト自転車の需要が増加し、生産が間に合わず、納品まで1ヵ月以上かかっている状態である。

青果

・春の天候をひきずり、全体に入荷減、単価高値の推移となった。善光寺御開帳で賑わったが青果業界では特に目立った影響はなかった。

土産品

・松本地区には、善光寺御開帳の恩恵も少なく厳しい5月であった。サービスエリア他の売上も低迷しており、外国人観光客が増えているとはいえ、土産品の売り上げ増へは結びついていないのが現状である。

包装資材

・原材料、物流コスト等の価格上昇をうけ、業界を取り巻く環境は非常に厳しい。仕入商品の値上げ傾向と得意先のコスト抑制傾向は変わらない。

4. 小売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
低調	やや低調	やや低調	低調	まあまあ
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 38.1	▲ 24.0	▲ 29.2	▲ 7.7	▲ 37.0	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 50.0	▲ 48.3	▲ 11.5	▲ 16.6	▲ 21.2	▲ 20.0
販売客数	▲ 42.8	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 44.5	▲ 42.4	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 41.4	▲ 30.8	▲ 40.0	▲ 12.1	▲ 5.7
販売客単価	▲ 4.8	▲ 4.0	▲ 8.4	▲ 11.5	▲ 33.3	▲ 11.5	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 31.1	3.8	▲ 13.3	▲ 6.0	▲ 2.9
営業利益	▲ 19.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 40.7	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 34.5	▲ 19.3	▲ 30.0	▲ 39.4	▲ 17.1
見通し	▲ 14.2	▲ 8.0	4.1	▲ 3.8	▲ 3.7	▲ 7.7	0.0	▲ 8.3	6.9	3.9	6.7	6.1	2.9

<経営者の目・見方・etc>

ショッピングセンター

印章

化粧品

漆器

住宅機器

書籍

陶磁器

パン

菓子

観光物産

- ・3月、4月に比べ順調に推移した。特に月末はクラフトフェアの動員効果も見られた。6月以降はプレミアム商品券発行による消費の刺激を期待したい。
- ・晴天続きで観光客、修学旅行生等、5月は絶好の旅行日和とクラフトフェアで人出も良好であったが、買物袋を下げている人は少なかった。時節柄、印章需要は秋まで落ち込むばかりで気が重い状態である。
- ・外国人客が増加した。善光寺の御開帳に合わせて信州を巡っているのだろうか。缶入り七味唐辛子が数百円で記念になるお土産として購入できるが、松本にも似たようなお土産がないかと観光客からの問い合わせがあった。
- ・クラフトフェアの人出は多かった。プレミアム商品券購入後にお買い物を希望しているお客様がいるので、今後に期待したい。
- ・客数、特に外国人が多くなったが、客単価が上がりず財布の紐が固いのが現状である。例年に比べクラフトフェアの来店が少なかった。
- ・少しずつではあるが、仕事の受注が動き出した。
- ・開店以来の取次(問屋)が大手に吸収合併された。これからは大手しか残らないと思う。取引条件が変わる可能性がある。副業を含めて頑張るのみである。
- ・単月の売上は前年度並みだったが、店売の落ち込みが凄い。来店される人をどのように呼び込むか思案中である。
- ・雨が降ることなく、気温も高めに推移した上に、週末が5回あったので集客には恵まれた月であった。松本山雅FCのJ1昇格で対戦チームのサポーターの来松が桁違いに増えた感がある。対応を検討したいのでJ1を維持できるように応援したい。
- ・原材料価格の上昇が続いている。
- ・前半は、ゴールデンウィークの好天に恵まれ売上も伸びた。中旬あたりからは気温の上昇で思ったほど売上は伸びなかったが、全体的にはまずまずの印象だった。
- ・クラフトフェアは昨年より売上が20%アップし、松本の大切なイベントになった。原材料価格が高く、利益につながらない。
- ・連休中は昨年並みの人出だったが、連休明け後は日本人の動きが止まった。外国人のお客様も徐々に減少している。

生鮮食品

味噌・しょうゆ

- ・連休、お祭り、母の日と観光客もあり、皆外へ遊びに出掛け静かだと思っていたが、5月が終わってみるととても良かった。
- ・漬物業界で、3月、4月で2社の廃業があった。

5. 飲食業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
まあまあ	まあまあ	やや低調	やや低調	やや低調

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	0.0	▲ 50.0	▲ 10.0	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 30.0	0.0	▲ 22.2	27.3	8.3	▲ 8.4	6.7
販売客数	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 10.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 30.0	0.0	▲ 11.1	36.4	8.3	0.0	6.7
販売客単価	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 22.2	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 18.2	▲ 11.1	▲ 9.1	▲ 8.4	▲ 16.7	▲ 13.3
営業利益	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 44.4	▲ 60.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 36.4	▲ 33.3	27.3	0.0	▲ 16.7	▲ 6.7
見通し	▲ 16.7	8.3	0.0	▲ 22.2	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 27.3	0.0	36.4	16.7	16.7	▲ 6.6

<経営者の目・見方・etc>

カレー

- ・ゴールデンウィークで松本の街に多くの人があふれていた。工芸の5月、クラフトフェアもあり、いつもより買い物袋を持っている人も目立って、賑わい、活気のある1か月であった。

そば

- ・ゴールデンウィークは人出が多かった。例年はゴールデンウィーク後の人出は少なくなるが、善光寺御開帳の影響で絶え間なく人出があった。

レストラン

- ・季節に合った献立にし、お客様を飽きさせない努力が必要である。

郷土料理

- ・大型連休、善光寺御開帳、クラフトフェア等、人の流れが順調で活気があった。観光客から従業員の接待に「心」があると褒められた。これは、本当の「おもてなし」の基本である。

仕出し料理

- ・青果物などの主要野菜が1か月以上高値の状態が続き、収益に大きく影響がでた。

寿司

- ・観光客が多少増えたが、売上は横ばいであった。
- ・消費税増税となった昨年の同時期よりは良くなった。大変な決り事も時間が過ぎれば麻痺してしまうのか。慣れるということは人間社会を良くもするし悪くもしてしまう。過去・現在・未来をしっかりと見極めることが重要ではないかと思う。

創作料理

- ・地域内にあった飲食施設が閉店した為、来客数は良かったが、客単価が伸びなかった。野菜の値段が高い状態である。

6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
まあまあ	まあまあ	まあまあ	やや低調	やや低調
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 2.5	▲ 5.7	▲ 5.8	▲ 10.2	0.0	3.1	▲ 5.0	▲ 24.3	▲ 19.5	▲ 5.7	5.0	14.7	0.0
販売客数	▲ 2.5	▲ 8.6	▲ 11.4	▲ 7.7	0.0	▲ 21.2	▲ 15.0	▲ 21.6	▲ 25.0	▲ 11.4	▲ 2.5	12.2	2.1
販売客単価	▲ 5.0	▲ 8.6	▲ 2.8	▲ 5.1	▲ 5.4	▲ 6.1	▲ 10.0	▲ 5.4	▲ 11.1	▲ 11.4	▲ 2.5	4.9	0.0
営業利益	2.5	▲ 5.7	▲ 17.1	▲ 17.9	▲ 2.7	▲ 15.1	▲ 20.0	▲ 29.7	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 10.0	14.6	▲ 6.1
見通し	10.0	0.0	2.9	0.0	0.0	▲ 6.1	▲ 2.5	0.0	2.7	14.2	0.0	2.5	▲ 2.0

＜経営者の目・見方・etc＞

クリーニング・リネン

・従業員不足が深刻である。

ソフトウェア

・受注は多くなってきたが、要件に見合ったスキルを満たすSE等が不足している。
顧客側でも、自社で人員を確保できる大手企業は別として、一般的には投資コストを抑えたい分野なので、自社の抱える問題を的確に業者へ伝えられない。

タクシー

・4月下旬には各地で開山祭が行われ観光シーズンに入ったが、今月の客の入りはまだ少ない状態である。

ペットサービス

・来店数は前年並みだったが、ゴールデンウィークのホテル利用が少なく、売上が前年を若干下回った。

獣医

・新患の犬フィラリア症予防剤の減少が気になっている。各種腫瘍、整形外科、消化器内科等の難易度の高い疾患が最近増えている。我々は第一次診療施設であるが、第二次診療、高度医療施設（獣医科大学等）や精密検査機関とも連携を深め治療にあたっている。

ホテル

・ホテル全体は昨年並みであった。ブライダル部門が減少し、宿泊部門はインバウンド、御開帳のお客様が増加した。
・御開帳の影響で宿泊の稼働率は良かったが、宴会は比較的低調であった。まだまだ、地方の景気は回復していない。
・御開帳の影響もあり、個人観光、立寄り昼食などの動きは良かった。婚礼検討者の会場見学回遊率が2、3会場と低い状況が続いていたが、若干動きが出てきた。

温泉旅館

・ゴールデンウィークやクラフトフェア、善光寺の御開帳、各週末のサッカーのお客様、信州の春を楽しむインバウンドのお客様、平日もコンスタントにお越し下さる日本人客等、すべて思った以上にお客様の動きがよい5月でした。
・快晴の5月であった。日帰りの台湾旅行客のバスの多さは相変わらずだが、欧米の観光客も数多く歩いていた。新幹線の金沢延伸、善光寺御開帳などの影響はあまりなかったが、天気が良かったため売上は増加した。3000mの山々は、残雪

	が少なく、雪解けも急激に進んだため、6月中旬から下旬の姿となり、秋の渇水期の水不足が心配になる。 ・松本らしい好天に恵まれ宿泊客が増加した。サッカーサポーターも多く見受けられた。
旅館	・善光寺御開帳と結びつきの連休、好天が続いたため良好だった。また、サッカー関係の宿泊者もあった。 ・天候に恵まれ、平日も順調に推移し、特にキャンセルが少なかった。 ・外国人観光客が多くなってきた。来年の全国山の日記念大会に向けて、地元として国、県、市の指導を受けながら対応していかなければならない。
マッサージ マナー講師	・人出不足が続いている状態である。 ・4月、5月は新入社員研修会や各団体の総会での講演依頼があり、毎年少しずつ増えてきている。来月からこれらの依頼がなくなる。中学生、高校生の研修依頼は多少見込めるが、安定はしていない。
介護サービス	・介護保険法の改定による報酬減が明確になり、諸々の加算が取得できない小規模事業所は、存続できるか否かが問われている。M&Aが社会福祉の分野にも手を伸ばし始めたと報道があったので、吸収合併若しくは身売りがあるかもしれない。
管理・運営 機械設計 自動車整備	・入居者不足により空き部屋が増え、管理業務が増えて売上の減少になっている。 ・大きな売上がなく、小規模企業は厳しい状況である。 ・ゴールデンウィーク以降、動きが鈍くなっている。全体的に自動車業界は5月～7月にかけて仕事量が少なくなる。連休の財布のゆるみや夏の暑さが影響していると思われる。
倉庫	・既存の顧客のみで新規顧客がいない。
測量	・4月1日より、技術者単価が平均で5%UPしたが、統一地方選挙の影響か仕事の受注がほとんどない。
理容 美容	・全体的に消費が渋く感じた。 ・雨時期は髪が纏まらなくなりストレートパーマの需要が増えるため、そのアプローチを強化する。
保険	・従来からの動きだが、無価値資産を収益資産に変えるという目的で、太陽光発電を取り入れる企業が増えてきたように感じる。税制面の優遇(取得価格の初年度全額償却)も大きな魅力のようである(平成27年3月31日までに設置した分)。CSRや環境への貢献という意味で良い流れかと思う。また、松本地域は太陽光発電に向いた地域であるようだ。

